

大阪狭山市の財政状況

総務部行財政マネジメント室



目 次

はじめに	1 ページ
財政ってなに?	2 ページ
令和3年度の決算はどうだったの?	3 ページ
歳入 (収入) の状況 は?	4 ページ
歳出 (支出) の状況 は?	5 ページ
ご近所さんと比べると?? ～歳入～	6 ページ
ご近所さんと比べると?? ～歳出～	7 ページ
財政にゆとりはあるの??	8 ページ
市債 (借金) はあるの??	9 ページ
貯金 (基金) はどれくらいあるの??	10 ページ
借金・貯金は多い? 少ない?	11 ページ
今後の課題は? ～人口の減少～	12 ページ
今後の課題は? ～公共施設の老朽化～	13 ページ
今後のために何をしてるの?	14 ページ
[巻末資料] 家計簿にたとえると	15 ページ
[巻末資料] 特別会計の決算状況	16 ページ



はじめに

社会保障関係経費の増加や公共施設等の老朽化対策などにより、本市の財政状況は厳しくなることが予想されます。こうした状況においても、市民の皆様の理解を得ながら、適切な行財政運営を行っていくために、本市の財政状況についてわかりやすく「見える化」した資料を作成しました。

市の決算の推移や市債（借金）・基金（貯金）の残高、今後の課題などを他市と比較して説明しているこの「大阪狭山市の財政状況」をさやりんと一緒にみていきましょう。

「大阪狭山市のお財布事情」では、**普通会計**の決算数値を用いて説明を行っている箇所があるため、決算書と数値が異なっている箇所があります。

○普通会計

すべての市町村の決算状況を同じ条件のもとで統一的に把握するためにつくられた統計上の会計区分

名	前:さやりん
年	齢:わからない
性	別:わからない
お	家:狭山池の龍神のほこら
趣	味:お花見・池の掃除
好きなもの:	狭山名物の大野ぶどう
嫌いなもの:	狭山池をよごす人





財政ってなに??

大阪狭山市では、住民の暮らしを支えるため、学校の運営や道路・公園の整備、ゴミの収集など、様々なサービスを行っています。

これらのサービスを効率的に行うための「**お金のやりくり**」を財政といいます。

使えるお金がどのくらいかを
予測し、使い道を決める

予算

実際に集めたお金を使って
サービスを行う

予算の執行

予定通りにお金が集まり、使
われたかを確認する

決算

会計の種類

会計とは市町村のお財布みたいなもので、大きく分けると3つのお財布があります。



一般会計

教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行うためのお財布



特別会計

特定の事業を行うために一般会計とわけたお財布

国民健康保険特別会計 など



公営企業
会計

特別会計のうち利用料金などで民間企業のように運営している事業のお財布

下水道事業会計

次のページ以降、市の一番大きなお財布である一般会計を中心にみていきます!





令和3年度の決算はどうだったの？

令和3年度の決算額（普通会計ベース）

歳入
(収入)

232億35万2千円

翌年度に繰り越すお金
1,155万9千円

実質収支

8億2,280万5千円

歳出
(支出)

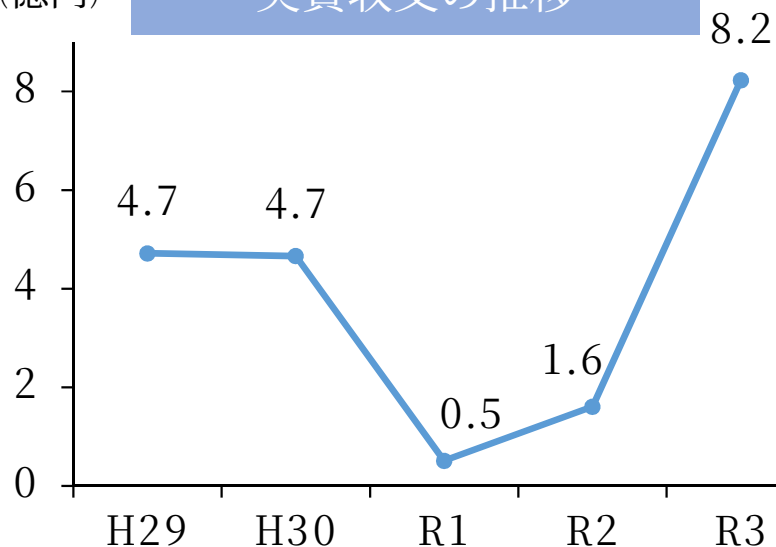
223億6,598万8千円

形式収支

8億3,436万4千円

(億円)

実質収支の推移



実質収支は黒字で推移しています。特に令和3年度においては、地方交付税等国の財源手当が手厚かったことや、行財政改革の影響により、大きく黒字となりました。

● 形式収支と実質収支

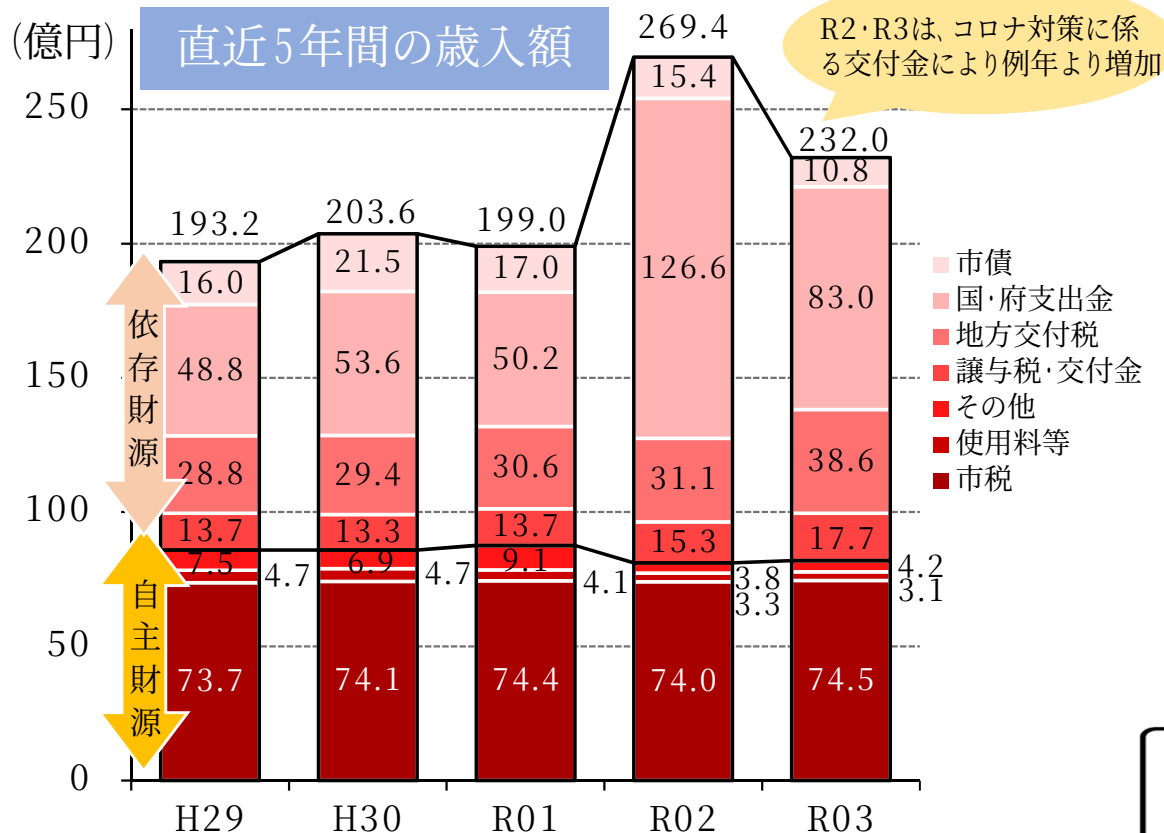
歳入総額から歳出総額を単純に差し引きした形式収支に対し、実質収支は形式収支からさらに翌年度へ繰り越す事業に充てるお金を差し引いた収支をいいます。

さやりんメモ





歳入（収入）の状況は？



○令和3年度歳入総額

232億35万2千円

地方交付税等国の財源手当てが手厚かった一方で、特別定額給付金給付事業の皆減に伴い、**国庫支出金が大幅に減少**したことで、昨年度より、**約37億円減少**しています。

また、市税をはじめとした**自主財源**（市で自主的に集めることができるお金）については、**ほぼ横ばいで推移**しています。

○ 用語解説 ○

譲与税・交付金: ガソリン税、消費税などが一定の決まりで分配されたもの

地方交付税: 地方自治体の税収格差を調整するため、国から分配されるお金

市債: 施設整備等のために借り入れたお金

● 自主財源と依存財源

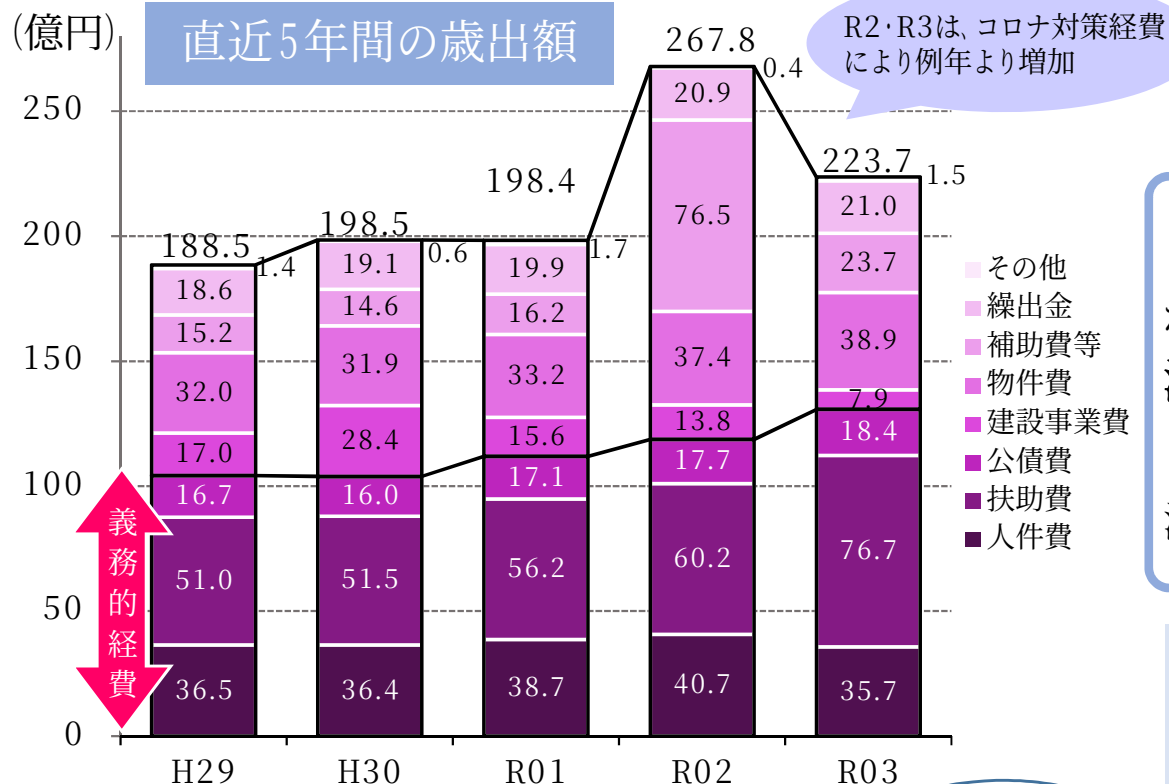
「**自主財源**」とは、市税や寄附金など市が自主的に集めることのできるお金、「**依存財源**」とは国や大阪府からのお金です。「**自主財源**」が多いほど自主的で、安定性のある行政活動が可能となります。

さやりんメモ





歳出（支出）の状況は？



特別定額給付金給付事業の皆減に伴い、補助費等が大幅に減少したことにより、昨年度より約 37億円減少しています。

義務的経費は、新型コロナウイルス感染症に係る生活支援のための経費もあり、大きく増加しました。

○ 用語解説 ○

扶助費：子どもや障がい者、高齢者などを支援するための費用

公債費：市債（市の借金）返済のための費用

建設事業費：公共施設や道路、学校などの整備のための費用

物件費：光熱水費や業務委託料、物品購入費などのための費用

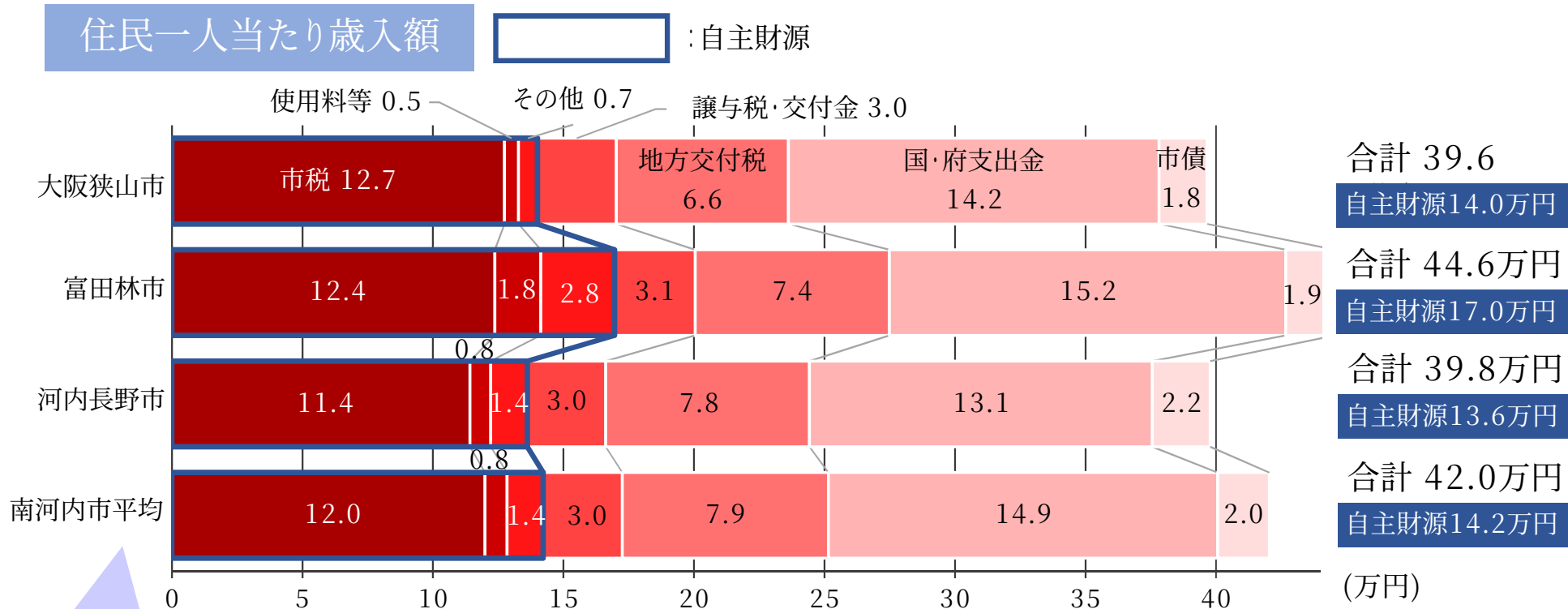
補助費等：各種団体等に対する補助金などの費用

繰出金：特別会計などに支出する費用



ご近所さんとい比べると??～歳入～

ご近所さんとい比べると、本市の決算状況はどのような傾向にあるのでしょうか。下の図は近隣市と比較した住民一人当たりの歳入（収入）額を比較したものです。



南河内の市（富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市）の加重平均

ご近所さんとい比べると、市税は多いものの、使用料や寄附金（ふるさと納税による収入）などが少なく、住民一人当たりの自主財源は他市平均を下回っています。

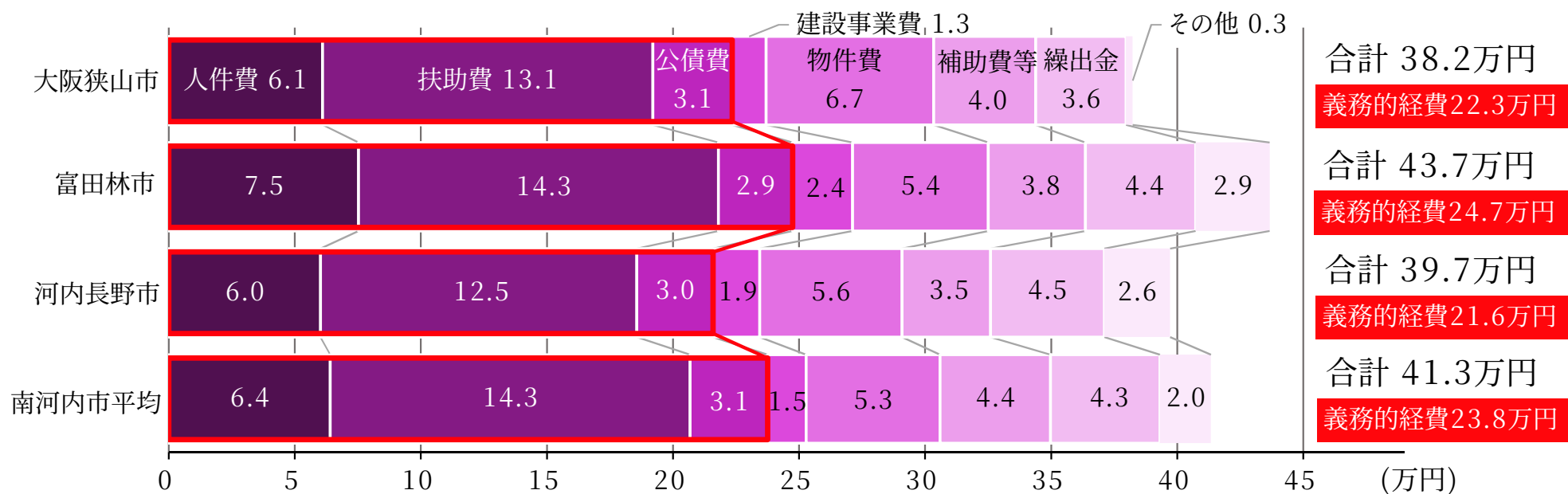


ご近所さん比べると??～歳出～

収入に続いて、住民一人当たりの歳出（支出）額を比較したのが下のグラフです。

住民一人当たり歳出額

義務的経費 : 義務的経費

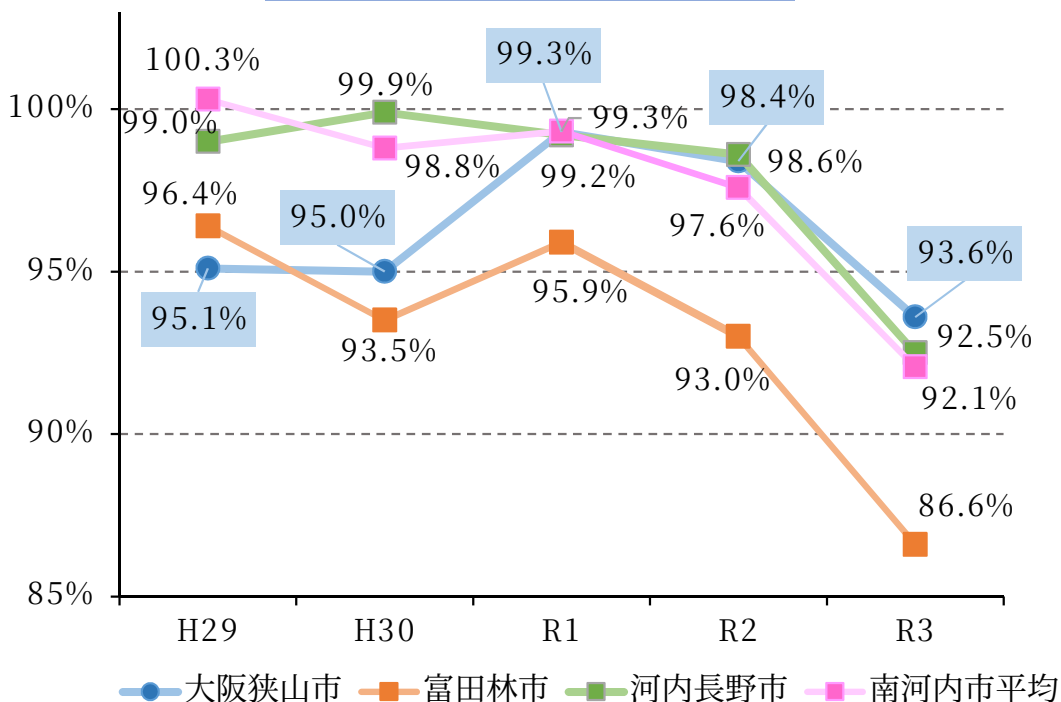


ご近所さん比べると、消防事務の広域化や施設管理の民間委託を進めてきたことにより、人件費は他市平均より少ないものの、委託料などの物件費が他市平均を大きく上回っています。



財政にゆとりはあるの??

経常収支比率の推移



● 経常収支比率

経常収支比率とは、毎年決まって支払うお金（人件費、扶助費、公債費、施設の維持管理費など）が毎年決まって入ってくるお金（市税や地方交付税など）の何割かを示す指標です。

（計算式）

$$\frac{\text{毎年決まって支払うお金}}{\text{毎年決まって入ってくるお金}} \times 100$$

経常収支比率が高いほど、自由に使えるお金が少なく、財政のゆとりが少ない状態であるといえます。

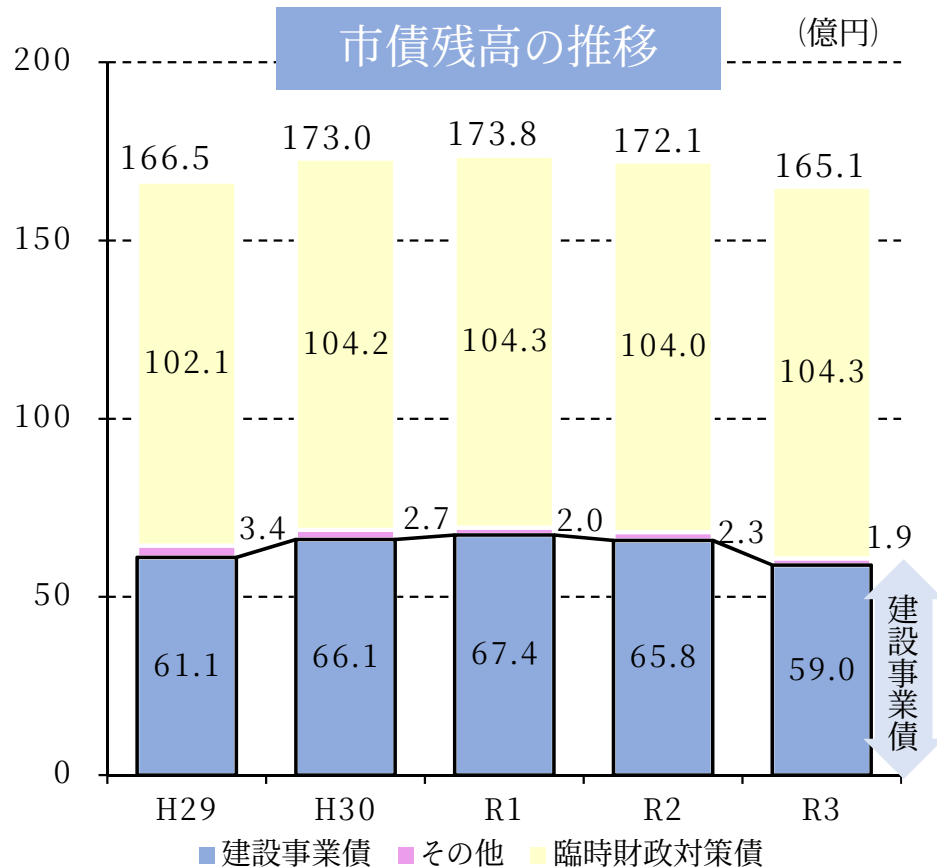
さやりんメモ



令和3年度の経常収支比率は、前年度から**4.8ポイント減**の**93.6%**となり、大きく改善しました。しかし、その主な要因は地方交付税等の国の財源手当が手厚かったことであり、近隣の市と比較すると、高水準で推移し、自由に使えるお金が少ない状況＝**ゆとりが少ない状況**にあるといえます。



借金（市債）はどれくらいあるの??



○ 用語解説 ○

臨時財政対策債: 国から地方交付税として分配されるお金のうち、国の財源不足に対応するための市債

市債

公共施設等の整備を行う際に国などから借り入れるお金

● どうして借金をするの？

■ 一時的な財源の捻出

⇒ 家のローンのようなものです。

■ 世代間の公平な費用負担

⇒ 公共施設や道路・公園などは長く使うものなので、将来の市民にも公平に負担してもらうためです。

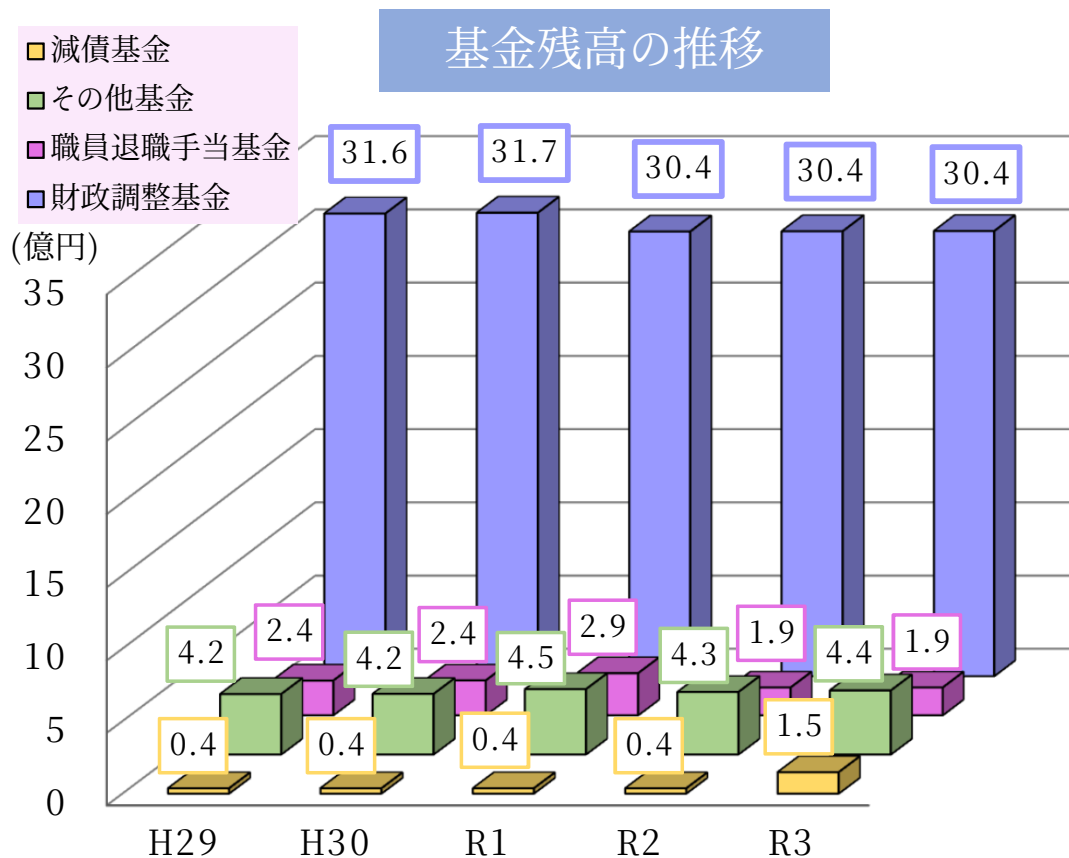
さやりんメモ



令和3年度末の借金の残高は**165.1億円**で、前年度より約7億円減少しています。特に、市債の発行を抑制してきたことにより、**建設事業債（施設整備に係る借金）の残高は減少傾向**にあります。



貯金（基金）はどれくらいあるの??



基金

将来の不測の事態に備えたり、特定の目的のために積み立てる貯金

●どんな種類の貯金があるの?

- 財政調整基金 30.4億円**
急な収入の減少や支出の不測の事態に備えるための貯金
- 職員退職手当基金 1.9億円**
職員の退職手当を支払うための貯金
- その他の基金 4.4億円**
文化振興や子育てなど特定の目的のための貯金
- 減債基金 1.5億円**
市債の償還(借金の返済)に備えた貯金

さやりんメモ



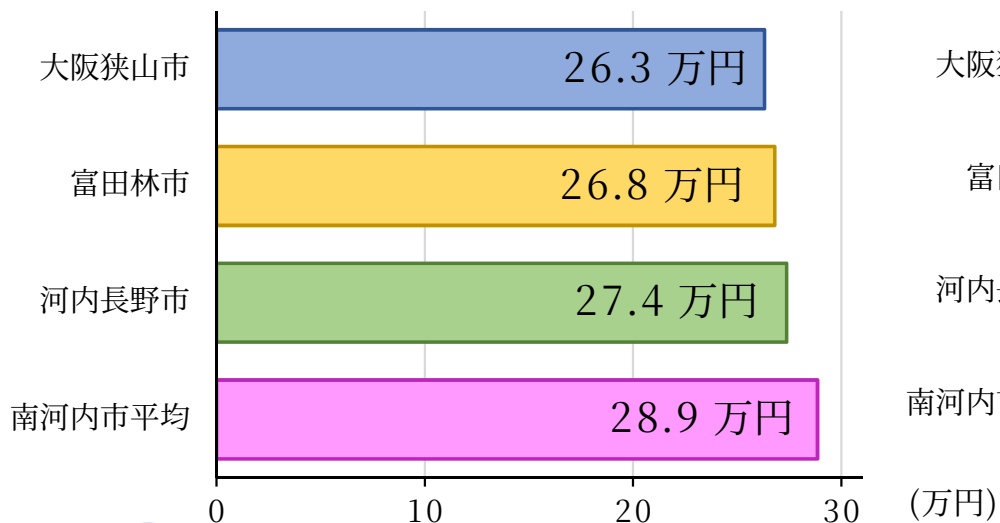
令和元年度は財源不足を補うため財政調整基金を1.3億円、令和2年度は退職者数の増加から職員退職手当基金を1億円それぞれ取り崩しました。しかし、令和3年度は貯金を大きく取り崩すことなく財政運営を行うことができたため、貯金の残高は増加し、総額で**38.2億円**となっています。



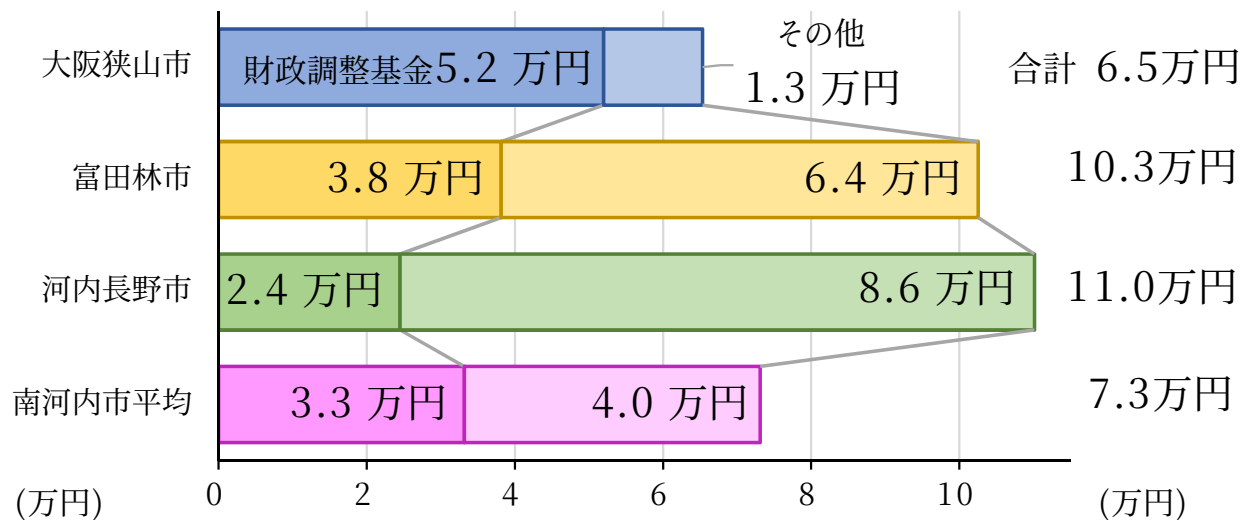
借金・貯金は多い？少ない？

本市の借金や貯金はご近所さんと比べて多いのか少ないのか、住民一人当たりの市債（借金）や基金（貯金）の残高を南河内の市（富田林市・河内長野市・松原市・羽曳野市・藤井寺市、大阪狭山市）の平均と比較しました。

一人当たりの市債（借金）残高



一人当たりの基金（貯金）残高



市債

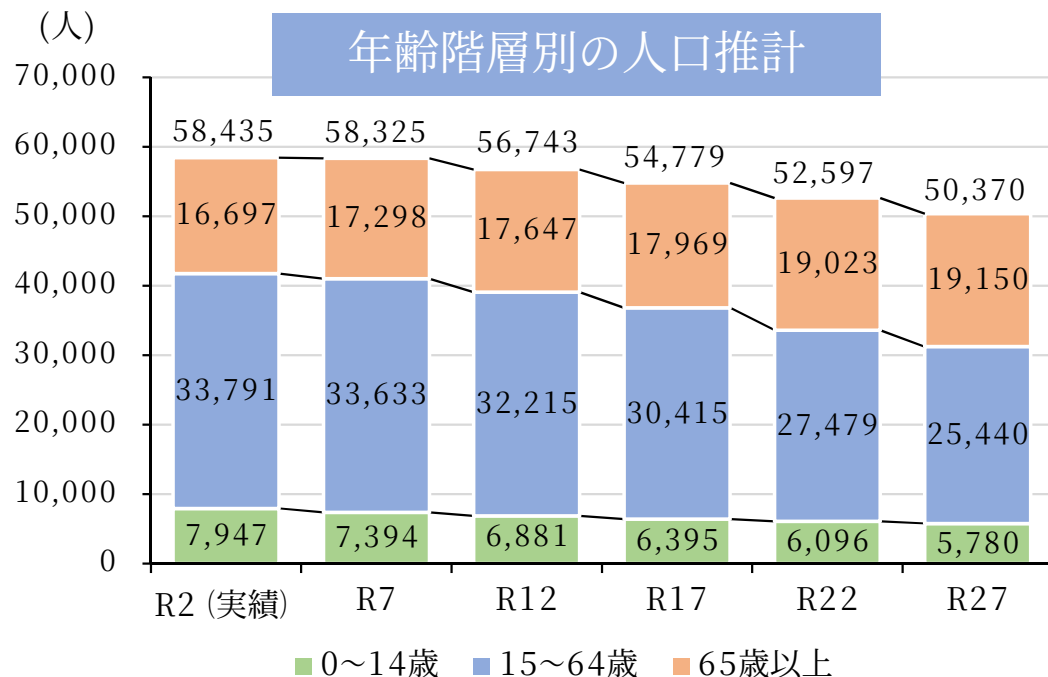
お金の借入を抑制してきたことにより南河内の市平均を下回っています。しかし今後、施設の老朽化対策等に係る費用として多額の市債（借金）の発行が見込まれます。

基金

令和4年度末現在、全体でみると南河内の市の平均を下回っていますが、不測の事態に備えるための貯金（財政調整基金）は平均を上回っています。今後、施設の老朽化対策等に備えて計画的な積立てが必要です。



今後の課題は？～人口の減少～



(出典) 令和2年度は国勢調査に係る人口、令和7年度以降は「[大阪狭山市第五次総合計画](#)」において推計した人口

今後の課題の一つとして、人口の減少と高齢化率の上昇があげられます。

左の図は、本市の年齢階層別の人口推計です。全人口は減少していく見込みである一方で、65歳以上人口は増加が見込まれます。

- 高齢者人口（65歳以上） **増加**
R27: 全体の3分の1を超え、約15%増加
- 生産年齢人口（15～65歳） **減少**
R27: 令和2年度と比べ、約25%減少
- 年少人口（0～14歳） **減少**
R27: 令和2年度と比べ、約27%減少

さやりんメモ

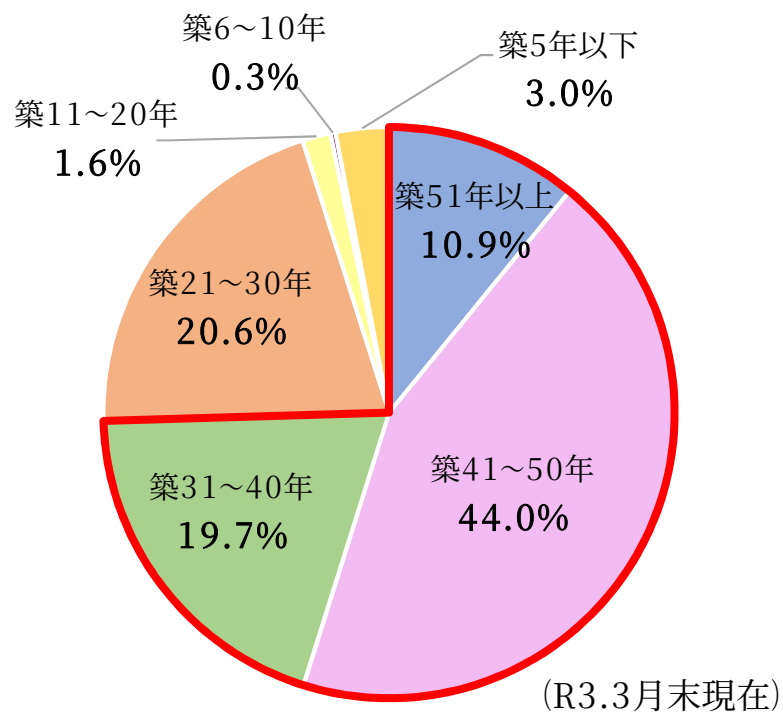


人口減少、特に生産年齢人口の減少が進むことで、「働き手の減少」だけでなく、「個人消費」にも影響し、**市税の減収**が見込まれます。その一方で、高齢化率が増加することで、**社会保障関係経費が増加**し、財政状況は厳しくなることが見込まれます。



今後の課題は？～公共施設の老朽化～

公共施設の建築年数別
延べ床面積の構成比



➡ 約75%が築30年超え

今後の課題の二つ目として、公共施設の老朽化があげられます。

左の図は、建築年数でわけた延べ床面積の構成比です。約75%の施設が30年以上前に建てられたものであり、老朽化が進んでいます。

課題

すべての施設をこのまま安全に使うためには、**多額の更新費用が必要**となり、財政状況を圧迫

対策

R3年度に作成した「[大阪狭山市公共施設等総合管理計画](#)」に基づき、施設の長寿命化や複合化、統廃合を行うことにより、更新費用の縮減を目指します。



今後のために何をしてるの？

課題の まとめ

- ① **少子高齢化**: 市税の減少 (**収入の減少**)・社会保障関係経費の増加 (**支出の増加**)
- ② **公共施設の老朽化**: 老朽化対策経費の増加 (**支出の増加**)

対策

財政状況が厳しくなる中で、行政サービスを安定的に提供し続けるために、「[大阪狭山市行財政改革推進プラン2020](#)」を作成し、行財政改革に取り組んでいます。

大阪狭山市行財政改革プラン2020

○計画期間: 令和2年度から令和6年度

項目	主な内容	一般会計の目標効果額 (5年間)
財政改革	市税等の徴収強化、受益者負担の適正化 等	626,297千円
行政改革	広域連携の推進 (水道事業・消防事業) 等	283,922千円
組織改革	給与制度の見直し 等	66,020千円
総額		973,239千円

● おわりに

行政サービスを安定的に提供し続けるために、市民の皆様のご協力が必要です。つきましては、

- ・市税や保険料等の納期内納付
- ・食品ロスの削減やリサイクルなどによるごみの削減

など、身近なところから市政へのご協力をよろしくお願いいたします。

ご協力よろしくお願いいたします！



巻末 資料

家計簿にたとえると・・・

大阪狭山市の財政状況をわかりやすくするために、決算額を家計簿にたとえました。
※令和3年度の普通会計の歳入・歳出の決算額を4,000分の1で示しています。

● 収 入 ●

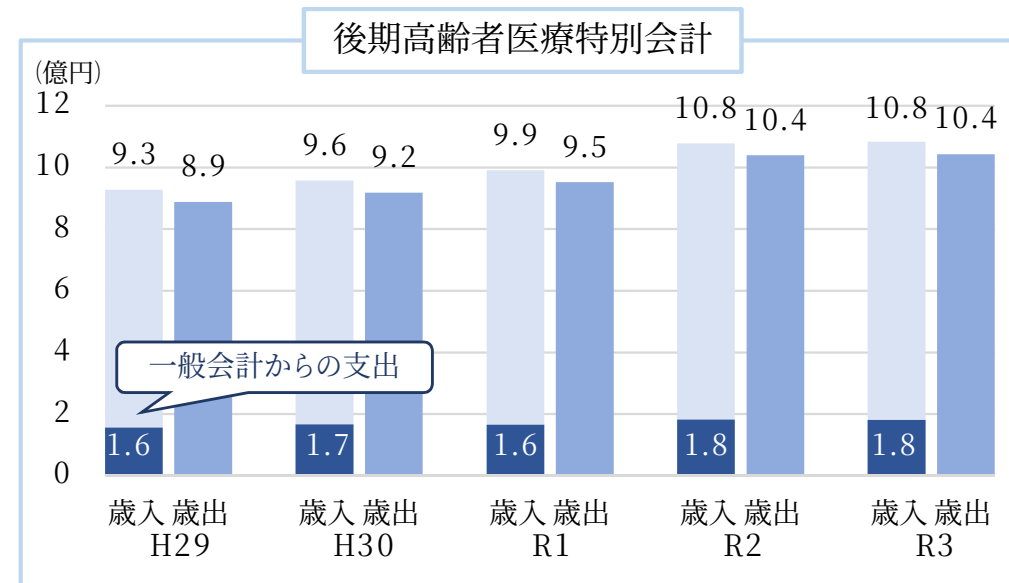
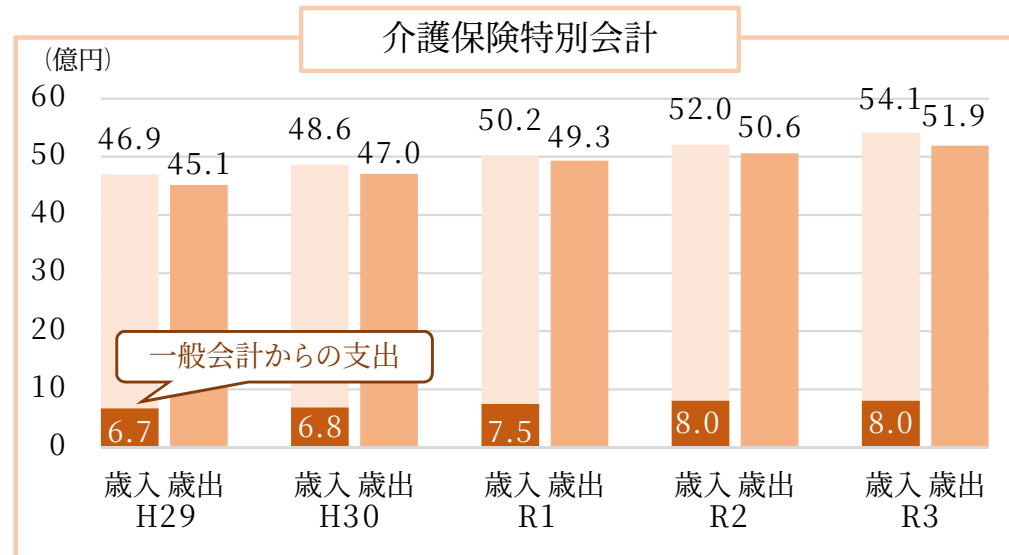
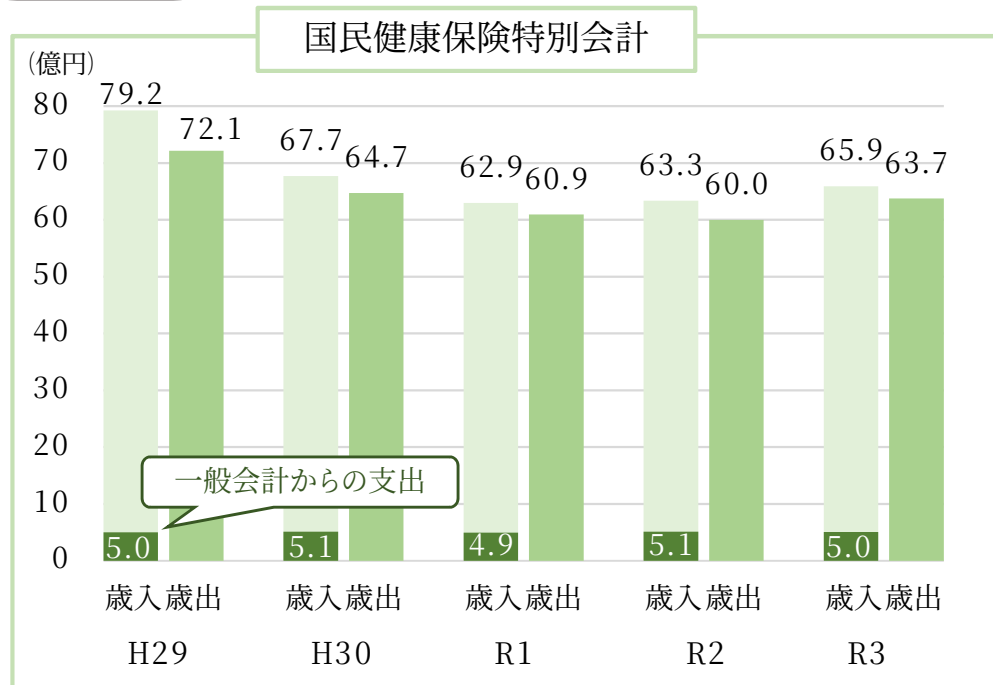
給与 市税	186万円
パート収入 分担金及び負担金、使用料など	18万円
貯金の取り崩し 基金繰入金	0万円
子どもからの返金 他会計からの繰入金	1万円
親などからの援助 地方交付税、国府支出金など	348万円
住宅ローン 建設事業債の借入	6万円
生活ローン 臨時財政対策債の借入	21万円
合 計	580万円

● 支 出 ●

食費 人件費	89万円
ローンの返済 公債費	46万円
医療費・教育費 扶助費	192万円
光熱水費・電化製品の購入など 物件費	97万円
家電の修理 維持補修費	1万円
地区会費・生命保険料など 補助費等	59万円
貯蓄 積立金	3万円
子どもへの仕送り 繰出金	52万円
家のリフォーム 普通建設事業費	20万円
合 計	559万円

特別会計の決算状況

今まで一般会計の決算状況をみてきましたが、冒頭で述べた通り、市の会計には、一般会計とは別のお財布で経理する特別会計があります。下の図は主な特別会計の決算状況の推移です。



一般会計からの国民健康保険特別会計への支出については、約5億円と概ね横ばいで推移にしていますが、介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計については、高齢化率が上昇するにつれ、決算規模が増加し、一般会計からの支出についても増加傾向にあります。